

# 新会長あいさつ

あらゆる個人が自己の人権を大切にするとともに、他者の人権をも尊重する、思いやりのある地域社会・町づくりの実現に努め、そして、安定した、潤いと安らぎのある社会環境の構築を目指さなければならぬと存じます。

当泉南市におきましても、昨年4月に「男女平等参画推進条例」、10月「泉南市子どもの権利に関する条例」が制定されました。このような状況下、地域の皆様の参

画を得まして運営されておりますところの本協議会の果たす役割は、非常に大きいと考えております。その活動状況は、泉南市広報や、本紙「きずな」で逐一紹介し、またイベント開催時にはパネル展示での啓発も行ってまいります。未熟な私ではございますが、皆様方のご支援・ご指導をいただき、啓発・推進活動に努めて参りたいと考えておりますので、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



新会長 南 弘和

# きずな

第5号  
2013年10月

<発行>  
泉南市人権啓発推進協議会

## 『非核平和の集い』に出演させていただいて

8月18日、文化ホールにおいて非核平和の集いを開催しました。第一部では、樽井公民館で活動している「昔のうたを歌う会」のみなさんのうたを歌う会「昔のうたを歌う会」のみなさんに、戦争当時の様子や平和への思いを語っていただき、あわせて歌も披露していただきました。

会の代表である久吉さんから感想をいただきました。

「泉南市にも高齢者が集える場を作らない」というT・Uさんの発案で二十年前から樽井公民館で活動しています。そこに、前樽井公民館館長のNさんから出演依頼があり、私達でよければとお引き受けしました。ただし出演条件としてうたの演奏と戦争体験を数名の方に語っていただきたいというものでした。そこで八十歳以上の方三〜四名にどんな体験を話すかだけ簡単に打ち合わせをして当日を迎えまし

これからの生きる若い世代、子どもたちにも、戦争当時の体験をしっかりと受け継ぎ、笑顔あふれる平和な世界をめざしていきたいですね。



# 人権推進部が移転しました



今年6月に、これまで水道庁舎1階にありました人権推進部事務所（人権啓発推進協議会事務局）が、人権ふれあいセンター1階へ移転しました。

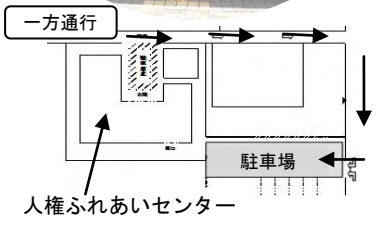
これまで、人権ふれあいセンターでは、社会福祉法に基づき、すべての人の人権が尊重され、住民の福祉向上、人権啓発ならびに市民交流を推進する施設として、識字教室・生け花教室など、さまざまな取り組みを行ってまいりました。

人権ふれあいセンターに人権推進部が入ること、人権啓発推進協議会の会議やおしゃべり会、男女平等参画ルームとしての活動など、これまで以上に

幅ひろい活動を通して、たくさんの人々との交流が生まれています。

時々、ご近所にお住まいのおばあちゃんが、散歩の途中に立ち寄り、長いすい座ってヘルパーさんとおしゃべりしています。

子育て中のお母さんたちは、子どもを連れて、自分たちの活動新聞をつくりながら、おしゃべりしています。



※人権ふれあいセンター駐車場は建物（正面入り口）の裏側にあります。



すこやか新聞部さん活動の様子

いつも夕方になると、小学生が「ただいま」と言って、ちよつとだけ寄り道してくれれます。

また、人権や女性に関する書籍も数多く取り揃えてあり、だれでも閲覧・貸出できる図書コーナーもあります。

これからは、たくさんの方が集える居場所「人権の拠点」として、さまざまな事業を進めていきたいと思っております。ぜひ一度、お近くにお越しの際は、お立ち寄りください。

（人権推進部）

## 編集後記

きずな新聞の創刊号を発刊してから、満2年を経て第5号をお届けすることができました。

これからもなお一層努力を重ね、読者のみなさんに喜んでいただけるよう頑張る所存でございます。読者のみなさまと編集委員が一体となって、より良い新聞にしていきたいと思っています。ご意見やみなさんの身近に起きたちょっとしたうれしいニュースなどございましたら、編集部までご一報いただければ幸いです。

（企画実行委員会 編集員）

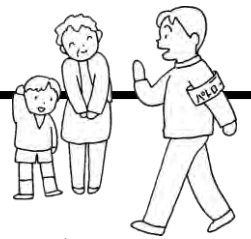


人権ふれあいセンターでは、人権・生活・就労・進路に関する相談を行っています。（人権協会担当）

また、人権擁護委員による人権相談もあります。

（月1回／第3金曜日、午後2時～4時）

個人情報厳守されますので、安心してご相談ください。



# あいさつは 笑顔と共に!

民生委員児童委員による平成24年度最後の朝のあいさつ活動は、匂い優しく美しい花々が咲き誇る西信達中学校前で3月8日にありました。小・中学校共に、校長先生を先頭にあいさつ活動に取り組んで居られます。西信達小学校の方でも毎週水曜日、下校時に見守りあいさつ活動を行っております。私の持ち場は、樫井川下流、岡田にある江永橋です。

「アニキ! だいま!」と坂を走って上って来て、ハイタッチ・グータッチ・頭突きタッチ・アンパンマンあいさつと、元気な笑顔と声が絶えません。泉南市全校区でも、青少年指導委員、防犯委員、民生委員児童委員など地域の人たちが見守りパトロール員として、君たちを温かな気持ちで見守っています。『泉南市子どもの権利に関する条例』にもうたわれています。」

その後、西信達小学校3年生の生徒から、見守りパトロール員のみなさんに、下のようなお手紙をいただきました。

イジメに遭ったりイジメを見たり、あるいは困ったことがあればアニキたち見守りパトロール員に言つてネ!

ちなみに、小中学校に咲く花々を丹精込めて育てて居られるのは先生と地域の方々です。でも、人手が足りず「お手伝いいただきける方はお申し出ください」とのことです。

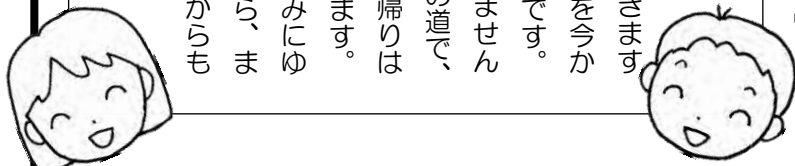
西信達校区  
アニキ(東 佑吉)

活動中に、このお手紙を受け取った民生委員児童委員の大家清美さんにお話しをうかがいました。

「先生方のご指導もあらうかと思いますが、子どもたちがこんなに思ってくれていることに、思いつきで感謝しましたネ! 活動を続けることは、双方向につながってゆくということですね。この感激を力にし、新たな気持ちでやる気になりました。」

ちい子のみな様

毎日30分をこえるあつさが続きますが、お元気ですか。じこしょうかいを今からします。西信だち小学校の3年生です。さいきん体調をくずしたりしてませんか。いつも朝早くに、学校のいき先の道で、あいさつしてくれています。学校の帰りはタッチや帰りのあいさつをしてくれます。本当にありがとうございます。夏休みにゆつくりと休んで、学校がはじまつたら、また、あいさつをしてください。これからも体に気をつけてください。では、さようなら。



## 講座を受講して

2013 人権入門講座 I 修了生  
高岡 幸美



うまくいかない事が多く悶々とした毎日に「ほんの数時間子どもと離れる」という事の大切さを気付かせてもらいました。

それからはたくさんの方の講座で学びを得ると共に、様々な年代の方々と関わる様になりました。そして、様々な考え方や価値観が身に付き、時に私自身も「成長しているなあ」と客観的に見れる様になりました。また子育てで不安な事や心配事も保育担当者にアドバイスを頂いたり、気付かせて貰ったりと有難い事ばかりでした。

現在私は4歳をはじめとする乳幼児3児の母親です。育児休暇にて子育て中の為、自分の時間もない中悶々としていました。しかし数年前たまたま講座のチラシを見て、「保育付きの講座」という事を知り受講しました。当時の担当をしていた方がユーモア溢れる楽しい早口な方でとても印象に残り、また受講したいという気にさせてくれました。講座終了後の私は不思議と以前にも増して自然と子どもに笑顔を見せる事が出来、優しくなれていました。何事も

昔からよく言われているようにですが、お母さん自身が元気で笑顔が出せなければ子どもも元気で健やかに育ってくれないのではないかと思います。私も自分も大事にしながら、これから育児で子どもと共に自分自身も成長していきたいです。

# 憲法週間&男女共同参画週間

## 「市民の集い」

5月26日(日)、文化ホールで『2013憲法週間&男女共同参画週間 市民の集い』が、開催されました。五月晴れの当日は、1時の開場にもかかわらず、昼過ぎから続々とお客さまが詰めかける盛況ぶりです、325人のご参加をいただきました。

今回の市民の集いは、映画『拝啓、愛しています』の上映と、それに先立ち、映画パブリシスト岸野令子さんの講演会の2部構成で行われました。

第1部の講演会では、岸野さんのさわやかでわかりやすい口ぶりで、最新の映画情勢と、今回の上映作品のさわり部分を話していただき、いやがうえにも盛り上がりました。

続く第2部は、人生の黄昏時を迎えた男女4人が

織りなす、笑いと涙の物語で、舞台化もされ韓国で圧倒的な支持を受けた映画の上映です。

中古バイクの牛乳配達、リアカーの古紙回収、狭い路地と密集した住宅等々、戦後復興期から高度経済成長前夜の日本を彷彿させる風景描写で素直に感情移入でき、誰しもがいずれ迎える問題を冷静に見据えた展開で、会場の参加者全員が静かな感動を共有出来ました。

今回の集いを通じて、愛する人を想い支え合う気持ちたちが社会に広まる事に切に願ってやみません。

〈西信達校区 柿本繁雄〉

当日司会の柿本さん



## 校区フィールドワーク

神戸異人館・ミュージアム  
移住を見ま  
き



5月22日(水)、朝8時半泉南市役所を出発。参加者は28名でした。異国情緒あふれる神戸の町で、午前中は観光ガイドボランティアの方にていねいに案内していただき、異国の文化と歴史のある異人館を巡りました。風見鶏の館、萌黄の館、ラインの館の3箇所を巡りました。移動する時歩いた石畳の小道も私にとって忘れがたい思い出となりました。  
お昼はホテル北野プラザ六甲荘で食事をしながら楽しいひとときを過ごしました。午後からは移住ミュージアムを見学しました。

## 海外移住と文化の交流センター (移住ミュージアム)

日本から600万人もの外国への移住が行われてきた歴史に深くかかわった神戸の「国立移民収容所」です。

移住者のためのこの施設は、現在「海外移住と文化の交流センター」と名前を変えましたが、主要施設は、移住ミュージアムになっています。この建物が建設された当時の神戸の街並みや海外移住の歴史、移住先への道のりや暮らしを当時の映像、写真で紹介して移住の状況がよくわかります。



住所：神戸市中央区山本通3丁目19番8号

ここでも学芸員の黒田公男さんがいていねいに説明してくださったのでよくわかりました。この建物の設立が1928年で、南米を中心に多くの移住者を送り出した移住の歴史を物語る国内唯一残された貴重な場所ということでした。



〈樽井校区 中島フミ子〉

く離れた海外での暮らしに夢や希望を託して、何日間もここで暮らしを共にした人々の気持ちに思いを寄せながらミュージアムを後にしました。